

竹田榮藏氏 勲四等に叙せられる

安藤 厚 (技術部)
Atsushi ANDO

元技術部化学課長竹田榮藏氏は 昭和58年春の叙勲に
さいして 勲四等瑞宝章を授与され 5月11日勲章伝達
式が行われました。心から御祝い申し上げます。

氏は昭和8年3月盛岡高等農林学校農芸化学科を卒業
後 昭和9年1月千葉県農産物検査所に勤務された後
昭和11年4月栃木県経済部農務課に移られ 肥料検査官
として各種肥料の品質検査と施肥指導に当られました。
昭和14年5月興亜院に出向され 張家口において蒙疆地
域の土壤肥料の実態調査に従事されましたが機構改革
により外務技官として昭和20年12月内地に帰還されました。

昭和21年7月商工省に出向され 地下資源調査所分析
試験課に移られました。同課において 氏は終戦直後
の国内資源の有効利用として 鉄明礬石・蛇紋岩の焼成
肥料化の研究を始められ 焼成処理後アンモニアガスを
吸収させることにより硫酸加里と硫酸を含む肥料の開発
に成功されました。

昭和29年から40年にかけて 本邦の石炭・亜炭に伴う
ゲルマニウムとウランの賦存状況を詳細に明らかにされ
これら元素の探査の基本技術を確立されました。昭和
41年4月より技術部化学課長として豊富な学識と経験を
生かして部下の研究指導を 行いました日本工業規格(JIS)
分析方法について 各種鉱石分析法の改訂にも尽力され
所内外に多大の貢献をなされました。氏はこれら業務
のかたわら 本邦石炭中の微量無機元素の2万成分に及
ぶ体系的研究を完成されました。この研究は石炭利用
諸技術開発のための基礎研究として高く評価され 理学
博士号(東北大学)を授与されました。

昭和49年10月退官された後は 社団法人埼玉県環境検
査研究協会において 主として埼玉県下の水質・大気・
産業廃水の環境試験・河川の汚染調査等に従事されると
共に環境分析技術の研究と環境分析技術者の指導育成を
はかられ 同県の環境保全に貢献されました。昭和58



竹田榮藏氏

年3月同協会を退任され 今日に及んでおります。

ここに今後の御健闘と御健康を心からお祈り申し上げ
る次第です。



勲記